

みんなの学校

耳成南小学校

～こどもが主役～

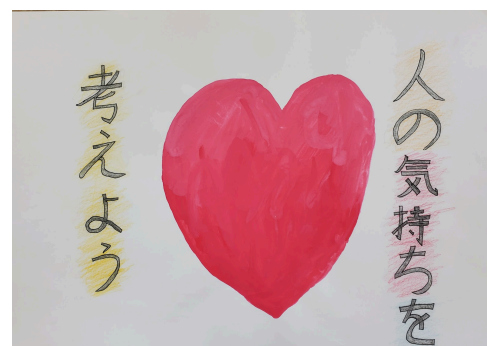


人権推進だより
2025年度

人権ポスター「2025年度 6年生の作品」No.1



みんなの個性や性格が花のように輝いている社会、そして人権が一人一人守られる明るい社会になってほしいと思って明るいイメージで描きました。



かげ口や悪口を言われたらいやだと思ふ気持ち、人の気持ちを考えてほしいと思い、この作品を描きました。



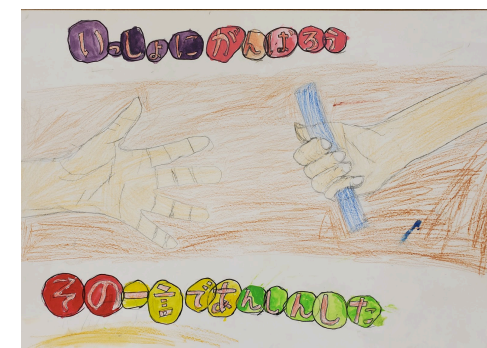
私がケガをした時、助けてくれたことを絵にしようと思い、温かい気持ちを表現しました。



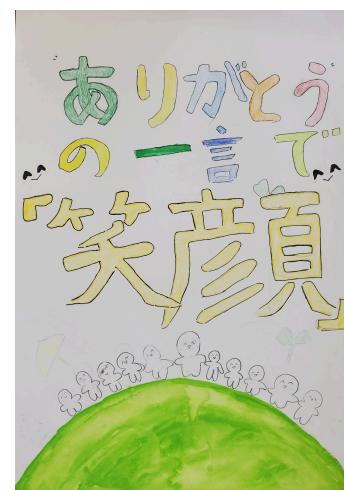
仲間がいると励まし合ってゴールを目指せるということを描きました。



みんなちがってみんないいということを伝えたくて描きました。



リレーの時に一緒にがんばろうといってくれた場面を描きました。



ずっとみんな仲良くいられるように、笑顔が大事だということを描きました。



運動場でこけた時に、「大丈夫?」と声をかけられて感動したので、その思いを表現して描きました。

人権ポスター「2025年度 6年生の作品」No.2



この絵を見た人が、色々な人たちに「ありがとう」と言えるとよいと思います。お礼をいうのが恥ずかしい人でも、1回だけでも言えるといいなという願いをこめました。



ソーラン節でみんなと頑張っている場面を描きました。



勉強を友だちに教えてもらっている時に、両方がやさしい空気に包まれている背景をイメージしました。



声をかけてくれた時に嬉しかったので、そういう声かけが広がればいいなと思い描きました。



友だちが困っている時に、声をかけることができず悔しい思いをしたことがありました。その後勇気を出して声をかけると「ありがとう」と言われてうれしかったことを思い出して描きました。



一人一人がちがう色をもっているということを表現するために、色を工夫して描きました。



授業中に友だちに教科書をかしてもらい、感謝を表現している場面を描きました。



下校中にこけている人を見つけた時、周りの人は気にせず通り過ぎていました。この絵を見た人が、困っている人を助けようと思えるようになればいいなと思って描きました。

＊6年生が、日常生活の中で友だちや周りの人たちの言葉や行動で感じたことを人権ポスターで表現しました。一枚一枚の作品から、様々な気持ちや気づきを感じることができました。